

当行創立の時期の産業界は、戦後の復興に多くの資金を必要としていました。しかし、福岡県南部の中小企業の皆さまは復興資金の調達さえ苦しく、資金繰りは厳しいものでした。そこで金融難の打開策として県南部の商工会議所等を中心に地元銀行設立の機運が起こり、本店を久留米市として設立されたのが「筑邦銀行」です。



旧本店（昭和28年12月竣工）



現在の本店（平成元年9月新築移転）

昭和	平成
27年 12月 (1952年)	元年 9月 (1989年)
(株) 筑邦銀行設立 (資本金5千万円)	2年 6月 (1990年)
島田益喜 頭取に就任	11月
28年 2月 (1953年)	12月
創業	3年 8月 (1991年)
12月	4年 3月 (1992年)
本店を久留米市東町に新築	11月
29年 6月 (1954年)	6年 4月 (1994年)
資本金1億円に増資	9年 3月 (1997年)
37年 5月 (1962年)	4月
佐藤與 取締役会長に、三島重人 取締役頭取に就任	10年 12月 (1998年)
38年 10月 (1963年)	11年 4月 (1999年)
資本金2億円に増資	12月
42年 11月 (1967年)	12年 5月 (2000年)
福岡支店ビル竣工	13年 4月 (2001年)
44年 2月 (1969年)	10月
資本金4億円に増資	14年 10月 (2002年)
49年 1月 (1974年)	12月
東京事務所開設	16年 3月 (2004年)
51年 4月 (1976年)	10月
資本金8億円に増資	17年 3月 (2005年)
52年 12月 (1977年)	5月
総合オンラインシステム稼働	18年 4月 (2006年)
55年 9月 (1980年)	8月
外国通貨両替商業業務取扱開始	19年 1月 (2007年)
56年 4月 (1981年)	20年 4月 (2008年)
資本金12億円に増資	21年 4月 (2009年)
6月	22年 1月 (2010年)
三島重人 取締役会長に、吉田哲也 取締役頭取に就任	12月
58年 4月 (1983年)	
国債窓口販売開始	
60年 11月 (1985年)	
新オンラインシステム稼働	
61年 6月 (1986年)	
公共債ディーリング業務取扱開始	
12月	
外国為替業務取扱開始	
62年 10月 (1987年)	
福岡証券取引所に株式上場	
資本金22億円に増資	
	本店を久留米市諏訪野町に新築移転
	担保附社債信託法の業務取扱開始
	社債等登録法に基づく登録機関の指定
	吉田哲也 取締役会長に、前川博 取締役頭取に就任
	株式額面1株500円を50円に株式分割 (額面変更)
	資本金30億円に増資
	額面普通株式1株を1.1株に株式分割 (無償交付)
	信託代理店業務取扱開始
	インターネット上にホームページ開設
	資本金45億円に増資
	証券投資信託窓口販売開始
	前川博 取締役会長に、井手中英 取締役頭取に就任
	資本金80億円に増資
	新システムセンターの稼働
	保険業務取扱開始 (住宅ローン関連の長期火災保険)
	ちくぎんテレホンセンター開設
	個人年金保険取扱開始
	創立50周年
	社団法人中小企業診断協会福岡県支部と全国初の業務提携
	本店営業部相談コーナー平日20時まで有人営業開始
	「北部九州ビジネスマッチング協議会」の設立 (当行、佐賀銀行、十八銀行)
	三行基幹系システムの共同化合意 (当行、佐賀銀行、十八銀行)
	井手中英 取締役会長に、山下洋 取締役頭取に就任
	三行システム共同化「最終合意書」締結 (当行、佐賀銀行、十八銀行)
	「ちくぎんバイオベンチャー研究開発大賞」を創設
	「ちくぎんマルチナカード」発売
	佐藤清一郎 頭取に就任
	新勘定系システム稼働
	セブン銀行とATM利用提携